

報告事項 1 令和 6 年度事業報告

令和 6 年度 重点課題・重点事業（事業報告）説明資料

重点課題：

- 1 看護の機能強化
- 2 専門職としてのキャリア継続支援
- 3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
- 4 地域における危機管理体制の強化

【重点事業】

- 1-1 地域包括ケアシステムを支える看護機能強化の推進事業
- 1-2 在宅・施設等の看護の機能強化事業
- 1-3 看護職出向支援事業
- 2-1 看護職の働き方改革への取り組み事業
- 2-2 看護職の県内就業と定着の推進事業
- 2-3 生涯学習支援の充実事業
- 3-1 特定行為研修に係る看護師の研修制度の活用推進
- 3-2 感染管理認定看護師養成確保事業
- 4-1 大規模災害発生時の対応・体制の整備
- 4-2 災害・感染症対策の整備

【課題：日本看護協会等との連携の中で取り組みを継続する事業】

- 1-1 日本看護協会が推進する「看護師基礎教育 4 年制化への制度改革」推進協力事業
- 1-2 ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築の理解と推進協力事業
- 1-3 准看護師制度が持つ課題の共有事業
- 1-4 政策推進力の強化事業
- 1-5 日本看護協会が推進する「資格活用基盤の強化」事業の理解と協力事業

1 看護の機能強化 1-1 地域包括ケアシステムを支える看護機能強化の推進事業	
実施内容	1 地域包括ケアの実現を支える多職種連携活動事業の推進 2 支部活動を共有し、看護職連携活動の推進
成果(進捗報告)	○支部理事等が市町の会議等に参加し、地域の実情を把握 ○理事会での支部活動報告により、活動を共有 ○会員及び関係団体との連携のもと学会を運営することができた

実施内容

1 地域包括ケアの実現を支える多職種連携活動事業の推進

- 1) 病院や診療所、訪問看護ステーション、行政等の看護職や他職種と連携し、地域連携を推進
 - ①支部理事が市町の会議等の実施状況等を把握し、会議等に積極的に参画
 - ②地域の実情に即した支部活動の実施
 - ③交流会の開催やコミュニティ活動へ参加

2 支部活動を共有し、看護職連携活動の推進

- 1) 理事会において活動内容を報告し情報共有を図った
- 2) 理事会報告時の資料をホームページに掲載し、支部活動の共有及び周知を図った

1 看護の機能強化
1-2 在宅・施設等の看護の機能強化事業

実施内容

- 1 人材育成及び資質向上
- 2 訪問看護総合支援活動の推進
- 3 施設等看護職の資質向上とネットワークの推進
- 4 職能活動のPR

成果(進捗報告)

- 訪問看護師養成講習会の開催
- 訪問看護ネットワークセンターとともに、訪問看護総合支援センター機能の一部を担った
- 研修・検討会を開催し、施設等看護職の資質向上とネットワークの推進及び職能活動のPRを実施

実施内容

1 人材育成及び資質向上

訪問看護師養成講習会の開催

- ・eラーニングは6月1日から、集合研修は7月12日から開始した。12名が受講し、10名が修了した
- ・訪問看護ステーション実習は半日2日間、実施した

2 訪問看護総合支援活動の推進

- 1) 訪問看護ステーションに対し、認定看護師等を派遣し個別支援を行った（3か所）
- 2) 香川県訪問看護ステーション連絡協議会、香川県訪問看護ネットワークセンターとともに、県下のステーションに対し、最新情報の発信・情報共有を図った
- 3) 訪問看護総合支援事業の実施方法について検討を行った

3 施設等看護職の資質向上とネットワークの推進

- 1) 介護施設における看取りガイドラインについて、在宅及び訪問看護ステーションを含めた施設においても活用できるガイドラインとなるよう検討を行った
- 2) 『看取りガイドラインを参考にした事例集』周知会・交流会を2月15日に開催した。28施設（病院、訪問看護ステーション、福祉施設等）から50名の参加があった。交流会ではACPを進めていくことの必要性や所属施設の現状・課題について意見交換を行った

4 職能活動のPR

看護師職能委員会Ⅱの活動として、ACPに焦点を当てた交流会を開催し、施設間での意見交換や情報交換が行え、有意義な時間を共有することができた

- 1 看護の機能強化
1-3 看護職出向支援事業

実施内容

- 1 助産師出向及び院内助産普及への取り組み
- 2 看護職出向支援推進への取り組み

成果(進捗報告)

- 助産師出向5日間実施
- 産科標榜18施設対象に調査を実施(院内助産・助産師外来・助産師出向等)

実施内容

1 助産師出向及び院内助産普及への取り組み

- 1) 偏在是正目的及び研修目的出向の実施
偏在目的出向：小豆島中央病院へ、高松赤十字病院より助産師1名が5日間出向
研修目的出向：実績なし
- 2) 産科医療機関に対しニーズ調査を実施
令和6年12月産科標榜施設18施設に実施し、結果を第2回助産師出向推進協議会で報告
- 3) 研修開催「改定 分娩施設における災害発生時の対応マニュアルについて」19施設より62名参加（助産師51名、保健師6名、看護師5名）

2 看護職出向支援推進への取り組み

- 1) 訪問看護従事者の確保のための看護職出向支援について声掛けを行ったが、実施に繋がらなかった

2 専門職としてのキャリア継続支援

2-1 看護職の働き方改革への取り組み事業

実施内容

- 1 看護職員の処遇改善の推進
- 2 看護職の勤務環境改善の推進

成果(進捗報告)

- 看護職の処遇改善に関する実態調査の実施
- 看護職の働き方改革を推進するため、看護補助者との協働を目的に説明会や体験会を開催

実施内容

1 看護職の働き方改革の推進

1) 看護補助者との協働

看護補助者の活用推進のためのハローワーク高松・観音寺において、就職コーディネーターから『お仕事説明会』を行い、11月12日（火）15名（高松）・11月15日（金）7名（観音寺）の参加があった

看護補助者の『お仕事体験会』に屋島総合病院に4名、まるがめ医療センターに3名の参加があった

2 看護職の勤務環境改善の推進

- 1) 看護職の処遇改善に関する実態調査を行い、香川県看護協会事業実践報告会（3月1日）にて報告を行った 参加：36名

2 専門職としてのキャリア継続支援
2-2 看護職の県内就業と定着の推進事業

実 施 内 容

- 1 ナースセンター事業の機能強化
- 2 看護の魅力等普及活動
- 3 看護職の離職時の届出制度の活用推進
- 4 地域医療体制に向けた看護職の確保

成果(進捗報告)

- 1 看護職員対象の就職説明会(介護・看護合同、中讃地区の2回)を実施し、県内病院等の情報提供
- 2 中・高校生等にふれあい看護体験・看護の出前事業を実施し、看護の魅力を普及
- 3 看護力再開発講習会(基本コース・看護基礎技術コース)を開催し、就労支援

実施内容

1 ナースセンター事業の機能強化

- 1) ナースセンター・サテライト相談(ハローワーク高松・丸亀・観音寺)を実施した
- 2) 就業支援コーディネーターによる施設訪問を2回実施した
- 3) 7月～9月に看護職員確保状況調査を医療機関86施設配布、67施設回答(回答率77.9%)と看護教育機関19校23科(回答率100%)に実施した
- 4) 介護・看護お仕事フェアを11月6日開催、参加施設は49施設(内病院8施設)参加者は103名(内看護職33名)であった
- 5) 病院見学バスツアーを12月25日に実施し、午前14名、午後10名参加した。各病院の特徴等を知ることができ、就業施設の対象として考える機会となった
- 6) 看護力再開発講習会終了日にナースカフェ(令和7年1月24日)を実施し、4名の参加があった。参加者からは、現役の看護師に相談して、再就職への不安が軽減したとの意見が多くあった
- 7) 看護のお仕事応援フェア(3月24日)中讃地区20施設が参加し、丸亀市市民交流活動センターマルタスにて開催し、26名の参加があった

2 看護の魅力等普及活動

- 1) 中・高校生等を対象にふれあい看護体験を25施設が実施し、197名の参加があった
- 2) 「いのちのせんせい」として、7月8日～2月18日に延べ80校に助産師を派遣した
- 3) 看護系大学、看護系専門学校4校に香川県ナースセンターの就業支援事業を紹介した

3 看護職のナースセンター届出制度の活用推進

- 1) ナースセンターからのお知らせ(年2回:4月、11月かがわ看護だよりに掲載)によりPRした
- 2) NCCS、届出支援システム「とどけるん」の管理運用を行った

4 地域医療体制の構築に向けた看護職の確保

- 1) 感染管理認定看護師、潜在看護職のIHEAT登録等により看護職を確保し、派遣調整を行った
- 2) 潜在看護師の就労支援のために看護力再開発講習会開催した
基本コース 2回(7月・1月)、看護基礎技術コース 7回(6月～2月)開催した

2 専門職としてのキャリア継続支援
2-3 生涯学習支援の充実事業

実施内容

- 1 質の高い看護人材を育成する生涯学習の推進
- 2 看護実践に活かされる研究の支援と推進

成果(進捗報告)

- キャリア形成につながる生涯学習プログラムの企画・実施
- 看護実践に基づく研究への取り組みの支援
- 香川県看護研究学会の企画・開催

実施内容

1 質の高い看護人材を育成する生涯学習の推進

- 1) 看護師職能委員会 I と教育委員会が協働し、看護管理者や人材育成・教育支援にかかわっている者を対象に、JNAオンデマンド研修を活用した生涯学習に関する交流会を開催した。18施設30名が参加（うち県内5校7名の教員参加）し、生涯学習についての理解を深め、各施設における現状や取組みについて情報共有を行った
- 2) 管理者対象研修については、認定看護管理者研修の4講座を公開講座として一般聴講研修として企画し、24名が受講した
- 3) JNAが示す生涯学習研修の枠組みを基に、令和7年度研修計画を作成した

2 看護実践に活かされる研究の支援と推進

- 1) 研究研修については2コースの個別指導を企画し、1年コース：3グループ7名、2年コース：2グループ6名が受講した。今年度受講の1グループが令和6年度に院内発表、2グループは令和7年度全国領域別学会にて発表予定である。また、昨年度研修受講の2グループが令和6年度の香川県看護学会で、1グループが全国領域別学会で発表するなど、論文作成につながる支援としての研修成果が得られた
- 2) 香川県看護学会を開催し、看護職が多数参加できるよう推進した
開催日： 令和6年11月30日
テーマ： 「讃 ほめる たたえる たすける～今さぬきの看護を考える～」
招待講演：「地域共生社会の実現に向けて～地域の特性を知り地域の生活を考える～」～
香川大学経済学部教授 西成典久
発表演題：13題（研究4題、実践報告9題）
参加者： 190名（一般114名 学生76名）
13題とも口演発表とし、発表者への質疑応答も活発に行われた

3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
3-1 特定行為研修に係る看護師の研修制度の活用推進

実 施 内 容

1 特定行為研修受講促進と活用推進

成果(進捗報告)

○ 特定行為研修受講推進に向けた情報提供

実施内容

1 特定行為研修受講推進のための取り組み

- 1) 特定行為研修受講推進に向けた情報提供
日本看護協会から発信される情報を提供・広報した
- 2) 特定行為研修修了者の役割や活動範囲についての理解を得るため、実践活動報告の実施
日本看護協会から発信される情報を提供・広報した

2 JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のための取り組み

- 1) 施設や職場で活用可能なラダーを用い、全ての看護師に共通する看護実践能力の育成と保証を目的とし、看護師職能委員会 I による交流会を開催した。2施設の取組み状況を共有した
- 2) アドバンス助産師の認定（再認定を含む）者の増加を推進する
CLOCMiP®レベルⅢ申請に必要な必須研修「法的責任を踏まえた助産記録について」を開催し、47名の参加があった
令和5年アドバンス助産師登録数は、118名であった

3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
3-2 感染管理認定看護師養成確保事業

実 施 内 容

- 1 感染管理認定看護師教育機関の運営
- 2 感染管理認定看護師の確保

成果(進捗報告)

- 感染管理認定看護師教育B課程の運営について、カリキュラムに沿って計画どおり実施
- 感染管理認定看護師の確保

実施内容

1 感染管理認定看護師教育機関の運営

感染管理認定看護師教育機関として感染管理認定看護師教育B課程を開講し、14名の受講生が入学した。カリキュラムに沿って、医師、薬剤師、感染管理認定看護師による講義及び実習が終了

- ・令和6年12月から令和7年1月末まで県内7施設協力施設での臨地実習を実施した
- ・教員会2回、入試委員会1回、管理委員会2回を開催した
- ・受講生15名の修了認定が決定した

2 感染管理認定看護師の確保

令和6年度感染管理認定看護師認定試験に令和5年度受講生12名が合格した。

4 地域における危機管理体制の強化
4-1 大規模災害発生時の対応・体制の整備

実 施 内 容

- 1 大規模災害発生時における看護支援活動の基盤整備
- 2 平常時から、災害発生時の対応・体制の整備

成果(進捗報告)

- 日本看護協会が示す新たな災害支援ナース養成研修の開催
- 携帯用品、在庫確認等平常時からの体制整備の実施

事業内容

1 新たな災害支援ナースの養成研修の開催

- 1) 災害支援ナース養成研修（オンデマンド研修）
日程：11月1日～12月23日 受講者：57名
- 2) 災害支援ナース養成研修（集合研修）
日程：令和7年1月21日・22日 受講修了者：55名

2 平常時から、災害発生時の対応・体制の整備

- 1) 災害時備蓄品と災害支援ナース携帯用品の在庫確認と整理の実施

4 地域における危機管理体制の強化

4-2 災害・感染症対策の整備

実 施 内 容

- 1 新型コロナウイルス感染症等の新興感染症への対応
- 2 平常時から、感染症発生時の対応・体制の整備

成果(進捗報告)

- 新興感染症への対応について、訪問看護ステーション連絡協議会と連携し研修等を実施し情報提供を行った
- IHEATの人材確保及び登録管理

実施内容

1 新型コロナウイルス感染症への対応

- 1) 新興感染症への対応について、訪問看護ステーション連絡協議会と連携し研修等を実施し情報提供を行った
 - ・研修会 令和7年2月15日（土）9：30～12：00 参加者：22名
- 2) 潜在看護職等に新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材（IHEAT）への登録勧奨及び研修会の開催
 - ・研修会 令和7年2月20日（木）9：30～12：00 参加者：34名
 - ・研修会参加者へのIHEAT登録の勧奨